

## A、B、C型肝炎より多いE型肝炎、一部慢性化も

E型肝炎は、従来、経口伝播型非A非B型肝炎とよばれてきたウイルス性の急性肝炎で、その病原体はE型肝炎ウイルス(HEV)です。発展途上国ではA、B型肝炎でなかったら、大部分はE型肝炎であると言われるほど一般的な肝炎の原因です。伝播は経口経路です<sup>1)</sup>。

日本では以前、E型肝炎は稀な輸入感染例と考えられてきましたが、国内発症例の報告が多くなされてきて、また、E型肝炎の感染検査が保険適応となるに至り、最近10数年の間に①人獣共通感染症でもあり、HEVが飼育ブタや野生イノシシ、シカなどの動物にも感染し、日本でもHEVが常在していること、②ブタやイノシシなどの動物の肉や内臓の生、あるいは加熱不十分な状態での摂食による感染があること、③臓器移植患者などの免疫能が低下した患者ではHEV感染が慢性化し得る(A型肝炎は慢性化しない)こと、など多くの新しい事実が明らかになってきました<sup>2)</sup>。2011年10月に抗体検査(IgA-HEV抗体)が保険収載され、2012年以降はそれ以前の倍以上の届出件数となり、そして、2016年は初めてA型肝炎の届出件数を上回り、その後2年続けてA型肝炎より多く発生しています。2017年度は届出件数のうえでA型、B型、C型肝炎、その他のウイルス肝炎を追い越してE型肝炎が一番多く報告されました。日本のウイルス肝炎はE型肝炎が一番多いのです<sup>3)</sup>。A型肝炎は性行為感染症が主体となっているのと好対照です<sup>4)</sup>。経口感染の急性肝炎をみたらE型肝炎を疑わなくてははいけません。

一般健常人でHEV抗体陽性率は全体で5.3%であり、男性の方が女性よりも有意に高率で、抗体陽性率は年齢とともに上昇し、60歳代がピークです(男性10.4%、女性4.5%)。本邦では年間最低、約1,500人がE型肝炎を発症していると推定されています<sup>3)</sup>。

国内感染E型肝炎症例の317例の検討で、感染源と推定される食材としてブタレバー・ホルモンが全体の35%を占め、イノシシ肉・内臓、シカ肉、あるいは生の二枚貝がそれぞれ6~9%でした。輸血によるE型肝炎と確定診断された症例が2例(0.6%)でした。問題なのは不明例が依然として46%を占めていることです。未処理の汚水や海水からHEV RNAが検出されたという報告もあり、河川や海水が汚染され、環境それ自体がHEVのリスクになっている可能性があります<sup>3)</sup>。海外ではイチゴ、葉物野菜、ラズベリーからE型肝炎ウイルスが検出された報告があります<sup>3)</sup>。

臓器移植患者では、約7割の頻度で(66/97)慢性化することが海外から報告されています。A型肝炎と大きく異なる点です<sup>5)</sup>。さらに高橋らの国内発症例177例の検討では、驚くべきことに11%が重症肝炎で、4%に劇症化が認められ死亡例が存在していました<sup>6)</sup>。

以上のように重症化し、かつ慢性化ののちに肝硬変へと至る可能性があるE型肝炎を積極的に診断する必要があります。診断は血清のHEV IgA抗体測定です。通常、ウイルス感染の初期診断はIgM抗体の測定が行われますが、HEVに関してはIgMの測定よりIgAの測定があらゆる検討で優れていました。感度98.8%、特異度100%とされています<sup>1)</sup>。RT-PCR法によるHEV RNAの測定も可能ですが保険収載されておらず保健所への連絡で測定できるかもしれません。その際、血中・便中ウイルスは症状出現後早い時期に消失してし

まうので病初期の測定が必要です<sup>6)</sup>。

近年、薬剤性肝障害と診断された 69 例のうち 8 例 (11.6%) で IgA-HEV 抗体陽性であったと報告されており、病歴から E 型肝炎を疑うのではなく、急性肝障害の鑑別診断のマーカーの一つとして IgA-HEV 抗体を測定すべきであると提唱されています<sup>7)</sup>。急性肝炎には全例 IgA-HEV 抗体を測定すべきということです。

菊池中央病院 中川 義久  
平成30年9月25日

#### 参考文献

1) 見逃されている E 型肝炎

<http://www.nobuokakai.ecnet.jp/nakagawa84.pdf>

2) 田中 宏明：日常遭遇することの多いウイルス感染症 肝炎領域 . A, E 型肝炎 . 日内会誌 2017 ; 106 ; 433 - 438 .

3) 岡本 宏明：E 型肝炎診療の最前線 . 日内会誌 2018 ; 107 ; 1826 - 1832 .

4) 性行為感染症で増加している A 型肝炎

<http://www.nobuokakai.ecnet.jp/nakagawa179.pdf>

5) 中川 由紀ら：腎移植後の E 型肝炎の検討—4 症例の経験—. 移植 2017 ; 52 ; 390 - 396 .

6) 高橋 雅春：E 型肝炎ウイルスの感染経路と診断・治療 . 感染症 Today 2015 . 2 月 15 日

7) 八幡 弘：急性ウイルス肝炎 . 内科 2017 ; 119 ; 1101 - 1106 .